

女性就労支援事業【広島県三原市】

総事業費	3,459 ^{千円}
交付金額	1,729 ^{千円}

地域の実情と課題

女性の就労率が男性と比較して低く、結婚や出産を機に仕事を辞めるケースがあり25歳～44歳にかけてM字カーブの形状がみられる一方で、仕事と子育ての両立の推進要望は高い。
未就業女性の働く意欲は高いが、企業側は女性人材を活用するための働き方や環境をどの様に変えれば良いか分からない部分も多く、就労を希望する女性側と女性人材を活用したい企業側のニーズにギャップがある。

事業の特徴

- ①女性就労ワークスクール(連続5回)の開催
専門講師によるワークスクールにより就労への一歩を踏み出す「きっかけ」づくりを行う
- ②企業向け女性活躍推進セミナー(2回)の開催
専門講師によりセミナーにより女性活躍のための企業側の環境整備のポイントを知る機会を創出する
- ③女性就労企業説明会・相談会(就労マッチングイベント)の開催
双方のマッチングの機会を設けることで就労の実現に寄与する

事業の効果

ワークスクールに参加した22人のうち、11人の就労が実現した。「自分の強みを改めて気付くことができた」「色々な人と繋がりが持て、社会に出ようと思う準備ができた」との声が聞かれ、目的のとおりに就労の後押しの機会となった。
事業への参加女性は、これまでハローワーク等で自発的な求職活動をしていない層であり、潜在的な就労ニーズへのプッシュ型の支援は有効であったと考える。

目的・目標

就労に意欲ある子育て期女性の就労実現を目的とし、仕事と子育ての二者択一を迫られることなく、子育ても大切にしながら仕事でも意欲と責任をもって働く視点を学ぶ機会を提供し、就労を後押しするとともに、就労実現の具体的な仕掛けとして、市内企業との出会いの場を創出する。

※主な目標: ()内は実績
事業に参加した女性の就職人数10人(11人)

連携団体

- 三原商工会議所
- 三原臨空商工会
- 三原公共職業安定所
- 広島県

今後の課題

当初掲げた目標値を達成することができたため、一定の成果を挙げることができたと考える。
今後も事業を継続する中で、より高い女性の就職率を達成できるよう、子育て期等の実情に合った求人開拓及び市内企業の理解を促していく必要がある。

◆女性就労ワークスクールの開催

- 第1回 ママのためのキャリアセミナー(7月5日)
- 第2回 ブランディング講座(9月4日)
- 第3回 ITスキルUP講座(9月15日)
- 第4回 テレワーク入門講座(9月21日)
- 第5回 わたし磨き講座(10月3日)

主に子育て期にある就労を希望する女性を対象に、専門講師によるワークスクールを開催。

【参加者数】女性22人

子育ても大切にしながら仕事でも意欲と責任をもって働く視点を養い、就労への具体的な一歩を踏み出す「きっかけ」づくりを行った。



就労ワークスクールの様子

◆企業向け女性活躍推進セミナーの開催

- 第1回(8月30日)
- 第2回(9月12日)

市内企業を対象に専門講師によるセミナーを開催。

【参加者数】企業19社

女性活躍のための企業側の環境整備のポイントを開設。また、参加企業同士のグループワークなどの交流を行った。



案内パンフレット

◆女性就労企業説明会・相談会(就労マッチングイベント)の開催 (10月12日)

市内の就労を希望する女性と市内企業との企業説明・相談会を開催。

【参加者数】女性18人、企業18社

企業の一方的な説明にならないよう、双方向にコミュニケーションを取ることができるイベントを開催。最終的には本事業を通じて11名の女性の就労が実現。



就労マッチングイベントの様子

【参加女性からの声】

色々な企業さんと話す機会となり
復職に向けてのモチベーションが高まりました！

【参加企業からの声】

このイベントに出ると覚悟を決めた方の目の輝きが違いました。勇気があり、みな意欲高い女性だと感じました！



案内パンフレット